



箕水総第151号
平成21年(2009年)2月27日

箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会
会長 様

箕面市長 倉田哲郎



「箕面市上下水道事業経営ビジョン」の検証・評価及び見直しについて（諮問）

標記のことについて、箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。なお、まもなく更新時期を迎える桜ヶ丘浄水場の今後のあり方については、水道事業運営に大きな影響を与えるため、平成21年(2009年)9月末を目途に答申をお願いいたします。

【諮問理由】

箕面市の水道は昭和26年(1951年)4月の給水開始以来、60年近くにわたって住民の皆さんの生活を支えてきました。また、下水道は昭和44年度(1969年度)に流域下水道の供用を開始し、平成15年度(2003年度)には普及率100パーセントを達成しています。

この間、上下水道事業を取り巻く経営環境は大きく変化しました。事業の根幹である使用水量は、景気の低迷、節水機器の普及等により減少傾向が続くとともに、水道料金及び下水道使用料収入も減少に転じています。

一方、上下水道施設は建設から維持管理の時代へと移行しており、今後、施設の改築・更新や耐震化の費用が大幅に増加するなど、上下水道事業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増すことが予測されます。

しかしながら、いかに厳しい経営環境にあっても、市民生活及び都市活動の基盤を担う上下水道事業は今後も継続し、安定的な上下水道サービスを提供し続ける使命があります。こうした中、上下水道事業の経営基盤を強化し、将来とも安定した上下水道サービスを提供するため、平成20年(2008年)3月に「箕面市上下水道事業経営ビジョン」を策定しました。

上下水道事業を取り巻く経営環境は、今後もめまぐるしく変化していくものと考えられ、箕面市上下水道事業経営ビジョンを時代に即応したものにするためには、定期的に検証・評価し、その結果を基に見直しを行う必要があります。

以上のことから、箕面市上下水道事業経営ビジョンの検証・評価及び見直しに際し、貴審議会の意見を求めるものです。